

case
03

ジヤトコ株式会社

Jatco

- ◆業種 … 自動車用変速機、電動パワートレインおよび部品の開発・製造・販売
- ◆従業員数 … 12,500名(令和6年3月現在)
- ◆受検者数(累計) … 1級330名、2級202名(令和6年3月現在)

自動車部品の製造業務において、技能検定職種にはない自動変速機の製造組立業務に関する社内検定を構築した。社内検定は、顧客、海外・国内メーカーに対する品質の信頼性をアピールする材料となっている。

(1) 社内検定制度の概要

ジヤトコ株式会社(以下「ジヤトコ」という。)は、「自動変速機組立」を対象職種として、平成24年に厚生労働省の認定を受けている。

社内検定の内容は、自動変速機の組立における品質とスピードに関する技能形成の度合いを測るものであり、実技試験は、1級、2級ともに同じ内容だが、試験時間は1級が75分、2級が90分と異なる。1級では2級に比べて組立時間を15分間短縮しているが、この違いで求められる技能の難易度は相当高いものとなる。

実技試験については、1人当たりの所要時間が長く、検定員数も限られているため、1日6名(AM:3名、PM:3名)で1週間程度で実施している。一方、学科試験は1日で実施している。

(2) 背景・目的

国の技能検定のうち、ジヤトコでは15職種を活用しているが、製造における組立業務の技能検定は当社の自動変速機の組立業務とは合致しないことから、社外からも認められる技能士と同等レベルの検定の立ち上げが社内的に求められた。また、製品の組立技能についての品質レベルを対外的にアピールしたいという意識もあった。

現在、製造プロセスの自動化が進んでいるが、放置すれば現場の技能レベルが落ちる。一方で、製造プロセスの自動化レベルを向上させるためには、自

動化の要素となる各技能のレベル向上が不可欠であり、社内検定はその技能向上に効果がある。この技能向上は、当社がグローバルに通用するものづくりを推し進めるためにも欠くことができないものである。また、新事業の電動化パワートレイン事業に共通する要素も「自動変速機組立」の中には織り込まれている為、部品の取り扱い、計測機器の原理原則を習得する事などで知識・技能の底上げに繋がると考えている。

(3) 構築前後の取組

① 認定前

社内検定の準備開始から認定取得まで、おおよそ2年半程度の期間を要した。取得にあたって最も難しかった点は、「自動変速機ユニットの組立の難しさとは何か」を変速機について詳しくはない方にも分かりやすく説明する必要に迫られたことである。

この課題に対しては、自動変速機の部品点数や測定対象となる要素数や計測精度などについて自動車



エンジンと比較しながら、組立の難易度を説明し、社内検定の審査委員からの理解を得た。

また、認定取得に先立ち、各ラインの作業工程ごとに、1級、2級それぞれについて技能と知識を星取表形式で整理した。工程と技能、知識の対応関係を整理できたことで、学科試験と実技試験を整備しやすくなった。

② 認定後

実技試験には時間がかかり、検定員の数も限られているため、単純に毎回100人受検するといった運用は困難なため、期間をかけて合格者を増やそうとしている。2014年の試験後、工場ごとに組立の練習機材を設置し、実技試験と同じユニットを事前に触ることができるようにしたことで、その後、合格者が増えてきている。

(4) 人事制度・待遇面との連携

社内検定の合否は、今までは処遇(昇格含む)に直接は反映していなかったが、社内スキルアップ教育とも関連させた体制を構築してきており、現在は昇格要件になっている。

(5) 構築の効果・メリット

① 社内検定構築に取り組んだことによる メリット

社内検定に取り組んだことにより、今後のジャトコ組立業界を担うエキスパート集団が構築された。知識、技能を伝承し、機能構造、部品の取り扱い、計測機器などの原理原則を習得することで、従業員の底上げができ、結果として品質向上、生産性向上につなげることができた。また、仕事の進め方を部下に徹底することができるようになってきた。



② 社内検定を構築し認定を受けたことによる メリット

検定1級、2級取得に向けての活動が定着してきた。各拠点の有資格者が時間を作り検定合格を目指している従業員に向け、教育訓練を実施するまでに成長した。

社内検定は、顧客への信頼性のアピールにつながっている。たとえば、海外メーカーに対して参考情報として伝え、国内の完成車メーカーには品質の信頼性をアピールする材料のひとつとして通用している。



合格者の声

**社内検定に合格したことで、
自分の自信につながりました。
後輩の指導にも役に立っています。**

社内検定に合格したことで、仕事でも良い効果が出ています。後輩よりも知識と技能があるので指導面で役に立ち、また、社内検定を受検する過程を通じて基礎的な知識を再確認することができました。夏、練習に励んだ経験は一生忘れないと思います。合格することができて、これから社内の組立部署でやっていけるという自信につながりました。